

## 次世代ファミリーコンサルジュサービスの Yohana、Stripe を活用して より消費者目線に合った課金や個別支払いなど決済のしくみを構築



パナソニック ホールディングス株式会社の子会社として、米国で次世代ファミリーコンサルジュサービスを提供する Yohana は、2022 年 9 月に日本で事業を開始する際にも Stripe を採用しました。先行していた米国での事業展開でも採用していた Stripe を活用することで、日本における課金体系および決済手段に迅速に対応し、利便性の高いサービスを素早く提供できるようになりました。

### 日本展開に伴い課金体系の多様化が必要に

忙しい家族が抱えるあらゆるくらしの困りごとに対応するコンサルジュサービスである Yohana は、贈り物選びから、家具・家電の修理、ペット旅行の手配などをチャットで相談すると、プランの提案から予約、買物代行、専門家の派遣まで、トータルでサポートしています。日本での事業展開にあたり、パナソニックグループの豊富なリレーションを用いて、実際に家庭に出張してサポートを行う「プロサービス」の提供を開始することを決定しました。これに際し、従来のサブスクリプションの課金体系である「Yohana メンバーシップ」に加え、家事代行や住宅の修繕といったプロサービスごとの個別支払いにも対応する必要があり、Stripe を採用しました。

見積もりや請求明細の表示、クレジットカードの支払処理、領収書の発行など、システムとして処理すべきことは数多くある支払い処理に対し、Stripe の API を使用することで、Yohana は短期間で日本での個別支払いに対応することができました。

Yohana 株式会社のプロチームリードである山本祥馬氏は次のように述べています。

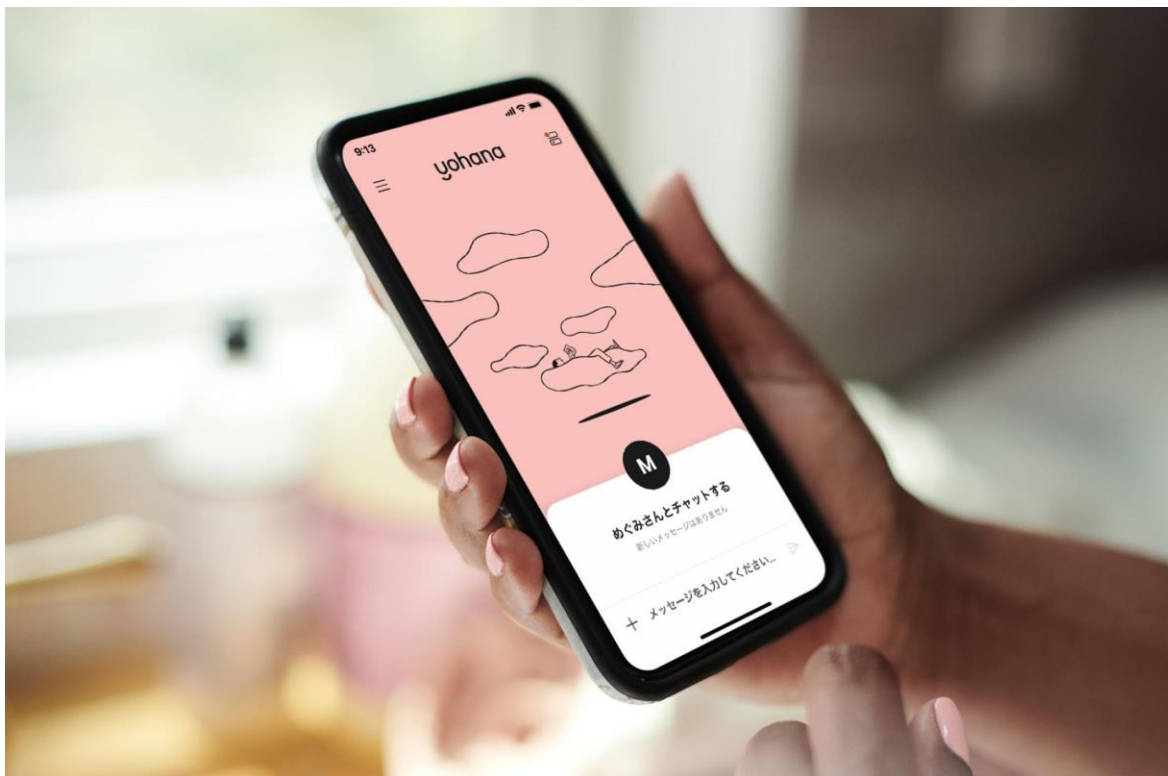
「もともと Yohana は『決済サービスとしての信頼性の高さ』『グローバルで展開しているサポートの手厚さ』などを考慮して米国で Stripe を採用していました。日本でサービスを拡充する際も、豊富な支払い方法に対応しており、また、各種 API が公開されているのでシステム連携が容易だったことから、短期間で新たな決済の仕組みを実装することができました」

さらに、日本のプロサービスは業界的に「銀行振り込み」での支払いがまだに多く、支払い手続きに手間が発生していました。しかし、Stripe を導入した Yohana が窓口となることで、お客さまはクレジットカード支払いでサービスを利用できるようになり、Yohana もお客さまに対してスムーズにお見積もり、ご請求ができます。

山本氏は次のように述べています。「Stripe のおかげで迅速に拡張可能な決済インフラを構築できたことで、ユーザー向けサービスに注力できるようになりました。パナソニックが創業当時から目指してきた社会の発展と人々の幸福への貢献を実現できるよう、両社の強みを生かしていきたいと考えています」

日本の Stripe の共同代表取締役のダニエル・ヘフェルナンは以下のように述べています。

「忙しい共働き世代をサポートする Yohana の事業拡大の一助となれて嬉しく思います。より簡単な決済を実現することで、日本でもこのようなサービスが幅広く浸透し、日々の様々な用事に追われる家庭がより豊かな時間を過ごせるよう、サポートしていく所存です」



#####



## Stripe について

Stripe は、企業向けの経済的インフラストラクチャを構築する会社です。スタートアップから世界的な大企業まで、数百万におよぶ企業が Stripe を導入して支払いを受け取り、収益を成長させ、新たなビジネス機会を加速させています。サンフランシスコとダブリンに本社を持つ Stripe は、インターネットの GDP を拡大させることを使命に掲げています。

詳しくは <https://stripe.com/jp> をご覧ください。

本件に関するお問合せ先：

クレアブ株式会社： 恵木（えぎ）

Email: [Stripe\\_Japan@kreab.com](mailto:Stripe_Japan@kreab.com)